

### 新しい学校像をサキドリ

現在、中央教育審議会では、次期学習指導要領に向けた「教育課程の柔軟化」が、以下の内容を柱に議論されています。

- 画一的な標準授業時数からの転換
- 学校裁量の拡大
- 多様な学びへの対応

この「教育の柔軟化」を先行実施するための文部科学省指定制度が、【教育課程柔軟化サキドリ研究校】です。

本校は、この指定を受け、R8年度から取り組みを始めます。詳しくは、4月になって改めて説明します。これからの新しい学校像を研究していきますので、よろしくお願いします。

7文科初第2062号  
サキドリ研究校指定書  
熊本大学教育学部附属中学校を  
教育研究開発実施要項  
(教育課程柔軟化サキドリ研究校事業)  
(令和7年8月28日文部科学大臣裁定)  
に基づき令和8~9年度  
サキドリ研究校に指定します。

令和8年2月13日  
文部科学大臣 松本 洋平

ワンポイント解説

- 中央教育審議会(中教審)  
国の教育のあり方について話し合う専門家の会議。文部科学省の問いかけ(諮問)に対して、議論して提案(答申)。これをもとに、学習指導要領等の制度が決まる。
- 学習指導要領  
文部科学省が定める、全国の学校で教える内容や目標の基準。一言でいうと、日本の学校教育の設計図。
- 教育課程  
学校がどんな力を育てるために、何をどんな順序と時間配分で学ばせるかをまとめた「学びの計画」。

### 令和8年度からの日課について

附属中学校では、生徒・教師ともに生き生きと学習(仕事)ができる環境を目指して、令和8年度から、日課の改革を行います。

**授業時間の短縮と授業の質の向上**

- ・45分授業とし、週29コマから30コマへ
- ・実技系は2コマ連続で余裕を確保
- ・指導内容を精選し、質の高い授業を実施

**ゆとりある時間の創出**

- ・終了時刻を早め、放課後活動(探究・生徒会)を充実
- ・教師の研修・授業準備時間を確保

**未来を拓くスキルトレーニング**

- ・帰りの会前に短時間トレーニング
- ・『対話力』『情報活用能力』などを育成

**小・中・国際クラスの連携強化**

- ・令和9年度から中学校でも国際クラス始動
- ・小・中・国際クラスの連携授業を実施

月	火	水	木	金
8:15 健康観察	8:15 健康観察	8:15 健康観察	8:15 健康観察	8:15 健康観察
8:20 朝読書	8:20 ソーシャルスキルトレーニング	8:20 朝読書	8:20 朝読書	8:20 朝読書
8:30 朝の会	8:30 朝の会	8:30 朝の会	8:30 朝の会	8:30 朝の会
8:45 1・2時間目	8:45 1・2時間目	8:45 1・2時間目	8:45 1・2時間目	8:45 1・2時間目
10:25 休み時間	10:25 休み時間	10:25 休み時間	10:25 休み時間	10:25 休み時間
10:35 3・4時間目	10:35 3・4時間目	10:35 3・4時間目	10:35 3・4時間目	10:35 3・4時間目
12:15 昼食	12:15 昼食	12:15 昼食	12:15 昼食	12:15 昼食
12:40 昼休み	12:40 昼休み	12:40 昼休み	12:40 昼休み	12:40 昼休み
13:10 5・6時間目	13:10 5・6時間目	13:10 5・6時間目	13:10 帰りの会	13:10 5・6時間目
15:00 掃除	14:55 帰りの会	15:00 掃除	13:30 5・6時間目	15:00 掃除
15:15 情報スキルトレーニング	15:20 職員研修 職員会議	15:15 プレゼンススキルトレーニング	15:20 課活動 放課後フリータイム	15:15 探究タイム
15:25 帰りの会		15:25 帰りの会		15:25 帰りの会
下校開始 15:35	15:05	15:35	15:20もしくは16:00	15:35

※1・2時間目や3・4時間目、5・6時間目の途中にも休み時間が入ります。基本的には45分間1コマですが、実技教科などは2コマ連続の100分間として授業を行います。100分授業の場合は、必要に応じて途中休憩の時間を取ります。

※この取り組みは、「令和8・9年度サキドリ研究校」として、文科省に承認されたものです。